安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本紙には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。パソコンの故障／トラブルや、データの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 危険	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う危険が差し迫って生じる可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味　△ ⃠ ● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告・注意を促す内容を示します。(例:⚠感電注意)
⃠	してはいけない事項(禁止事項)を示します。(例:分解禁止)
●	しなければならない行為を示します。(例:プラグをコンセントから抜く)

⚠ 危険

禁止 電池を取り扱うときは、次のことを守ってください。
・電極の(+)と(−)を針金等の金属で接続しない。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしない。 ・分解、改造しない。
・火の中に入れたり、過熱したりしない。・釘を刺したり、かなづちでたたいたり、踏みつけたりしない。
以上のことを守らないと、液漏れ・発熱、発火、破裂し、やけど・けがをする恐れがあります。

禁止 電池は乳幼児の手の届くところに置かないでください。
電池を誤って飲み込むと、窒息や中毒を起こす危険があります。特に小さなお子様のいるご家庭では、手の届かないところで保管・使用するなど、ご注意ください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告

禁止 電池を取り扱うときは、次のことを守ってください。
・分解・改造・修理・充電しない。
・使用した電池と未使用の電池、種類の異なる電池、異なるメーカの電池を混在して使用しない。
・電極の(+)と(−)を間違えて挿入しない。
・消耗しきった電池を入れたままにしない。
以上のことを守らないと、液漏れ・発熱、発火、破裂し、やけど・けがをする恐れがあります。

禁止 電池内部の液が漏れたときは、液に触れないでください。
やけどの恐れがあります。もし、液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。

禁止 電池を使用・交換するときは、指定の電池を使用してください。
指定以外の電池を使用すると、液漏れ・発熱・破裂し、やけど・けがをする恐れがあります。

強制 本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告や注意指示に従ってください。

分解禁止 本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

禁止 AC100V(50/60MHz) 以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。
海外などで異なる電圧を使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強制 電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。
差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

禁止 電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。
・設置時に、電源ケーブルを壁やラック(棚)などの間にはさみ込んだりしないでください。
・重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。・熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
・電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。・極端に折り曲げないでください。
・電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。
万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

強制 電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。
さわってけがをする恐れがあります。

強制 小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

禁止 濡れた手で本製品に触らないでください。
電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く 煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止 風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。
火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

電源プラグを抜く 本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

強制 電源ケーブル(またはACアダプタ)、信号ケーブルは必ず本製品付属のものをお使いください。
本製品付属以外の電源ケーブル(内部接続用を含む)、ACアダプタ、信号ケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 注意

強制 静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属(ドアノブやアルミサッシなど)に手を触れて、身近の静電気を取り除いてください。
人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させる恐れがあります。

強制 パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。

禁止 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
本製品は精密機器ですので、衝撃を与えないように慎重に取り扱ってください。本製品の故障の原因となります。

禁止 次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。
・ 強い磁界、静電気が発生するところ
・ 温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
・ ほこりの多いところ　→故障の原因となります。
・ 振動が発生するところ　→けが、故障、破損の原因となります。
・ 平らでないところ　→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
・ 直射日光が当たるところ　→故障や変形の原因となります。
・ 火気の周辺、または熱気のこもるところ　→故障や変形の原因となります。
・ 漏電、漏水の危険があるところ　→故障や感電の原因となります。

強制 本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内(ハードディスク等)のすべてのデータをMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。
誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。
バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制 各接続コネクタのチリやほこり等は、取り除いてください。また、各接続コネクタには手を触れないでください。
故障の原因となります。

禁止 本製品の上に物を置かないでください。
傷がついたり、故障の原因となります。

禁止 シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。
本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

禁止 本製品へのアクセス中は、本製品からUSBケーブルや電源ケーブルを抜いたり、パソコンを再起動しないでください。
データが消失、破損する恐れがあります。

強制 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。
条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

お問い合わせ・修理窓口・備品販売窓口

お問い合わせ・修理窓口・添付品の販売については、以下の順にてご確認いただきますようお願い致します。
マニュアル（印刷物、添付 CD 等）の設定内容・困ったときは（Q&A）をご確認ください。

弊社ホームページにて**最新 Q&A 情報、最新ドライバ・ファームウェア**をご確認ください。
サポート情報　**86886.jp**（ハローバッファロー）（http://www 不要）

上記で改善しない場合は、**バッファローサポートセンター**へお問い合わせください。
お問い合わせの際は、以下「必要な情報」③～⑦をあらかじめご確認ください。

インターネット(E メール)でのお問い合わせ先
Webサポート　86886.jp/mail/（http://www不要）
※左記 URL から画面に従って進み、表示されるお問合せフォームより質問をお送りください。

電話でのお問い合わせ先　※電話番号はお掛け間違いのないようにご注意ください。

- 東京第1センター　**03−5781−7260**　月～土 9:30 ～ 19:00
- 東京第2センター　**03−5365−3101**　日～土 9:30 ～ 19:00
- IP 電話[*1]　**050−3101−0084**　月～土 9:30 ～ 19:00
- 名古屋　**052−619−1188**　月～金（祝日除く）9:30 ～ 17:00

*1 NTT 固定電話からは全国一律 11.34 円 /3 分で利用可能。（注）営業日は、上記のほか年末年始、法定点検日など休業する場合があります。

手紙でのお問い合わせ先
〒457-8570 名古屋市南区豊田 3-3-5　(株)バッファロー　サポートセンター宛

修理は以下の**バッファロー修理センター**までご依頼ください。※修理品送付の前に弊社への連絡は不要です。

保証書について	修理送付前に本製品添付の保証書記載の保証契約約款をよくお読み下さい。
修理 web 予約	弊社ホームページより修理の web 予約、受付けた修理品の状況確認が可能です。 **86886.jp/shuri/**（http://www 不要）
送付先住所	〒457−8570　愛知県名古屋市南区豊田 3−3−5 株式会社バッファロー修理センター受付宛
電話番号	**052−698−7330** ※ご依頼の修理品に関するお問合せのみ承っております。 月～金（祝日を除く） 9:30 ～ 12:00　13:00 ～ 17:00
送付いただく物	本製品、本製品付属品、保証書（原本）、修理依頼票（*） * 修理依頼票は弊社ホームページよりダウンロード可能です。修理依頼票を添付できない場合は、以下「必要な情報」を記載した資料を製品と一緒にお送りください。

【注意事項】
※発送は宅配便等控えが残る方法にてお送りください。控えが残らない郵送は固くお断りします。
※修理依頼時の送料は、送り主様の負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故においては、弊社は責任を負いかねます。輸送会社に保証していただくなどの措置をお取りください。
※ハードディスク、フラッシュメモリ等の記憶装置内のデータは保証できませんので、修理に送付される前に予めお客様にてバックアップをとっていただきますようお願いします。
※AirStation、BroadStation、LinkStation、TeraStation は、修理の際に出荷時の状態に戻す為、設定内容(接続ユーザ名 / パスワード / 無線暗号キー(WEP)等)を消去しますので、ご送付前に必ず設定内容を控えてください。
※修理期間は、製品の到着後 10 日程度（弊社営業日数）を予定しております。
※修理させていただいた製品の保証期間は、元の保証期間の終了日又は、修理完了日より 3 ヶ月間のいずれか長い方となります。

製品の添付品販売(一部)、ダウンロード(ドライバ・ファームウェアなど)の代行サービス(有料)は下記のページをご覧ください。
添付品の販売(備品販売窓口)ページ　**86886.jp/bihin/**（http://www 不要）

ユーザ登録はこちらのページ **86886.jp/user/**（http://www 不要）より登録いただけます。

必要な情報
①返送先（氏名・住所・電話番号（内線）・FAX番号）
②平日昼間の連絡先（氏名・住所・電話番号（内線）・FAX番号）
③バッファロー製品名
④バッファロー製品のシリアルナンバー
⑤具体的な症状／エラーメッセージ
⑥発生状況（初めから・ある日突然等）、発生頻度（必ず、時々、時間が経つと等）
⑦ご使用環境（パソコン機種名、OS（Windows XP等）、周辺機器）
⑧製品以外の添付品（ACアダプタ、ケーブルなど）

※受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。最新の内容は、弊社ホームページでご確認ください。
※This product supports only Japanese language.
Technical and customer support is limited to Japan only.
This product supports Japanese language Operating Systems ONLY.

弊社へご提供の個人情報は次の目的のみに使用し、お客様の同意なく第三者への開示は致しません。
・お問合せに関する連絡・製品向上の為のアンケート（サポートセンター）・添付品の販売業務（備品販売窓口）
・製品返送/詳細症状の確認/見積確認/品質向上の為の返送後の動作状況確認（修理センター）

2007年5月1日 第2版発行　発行 株式会社バッファロー

BUFFALO

PY00-32079-DM10-02 2-01 C10-012

PC-P4LWAG マニュアル　はじめにお読みください

このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

ステップ1 箱に入っているものを確認しよう

万がいち、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

- □PC-P4LWAG(本体)...................... 1個
- □リモコン...................... 1個
- □電源アダプタ...................... 1個
- □単四形乾電池(リモコン用)...................... 2個
- □ビデオケーブル(コンポジットビデオ/アナログオーディオ)...................... 1本
- □LANケーブル(ストレート)...................... 1本
- □ユーティリティCD...................... 1枚
- ☑はじめにお読みください（本紙）...................... 1枚

メモ
- ●ユーティリティCDには、本製品の付属ソフトウェアや画面で見るマニュアルが収録されています。詳しくは、画面で見るマニュアルを参照してください。
- ●追加情報が別紙で添付されている場合は、必ず参照してください。
- ●本製品を梱包している箱には、保証書と本製品の修理についての条件を定めた約款が記載されています。本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。
- ●ユーザー登録や修理のときにシリアルナンバー（製造番号）の入力が必要です。設置する前に本製品底面のシリアル番号を保証書に記入してください。

ステップ2 インストールしよう

本製品のドライバや付属のソフトウェアをインストールします。
以下の手順でインストールしてください。
※画面はWindows XPを例に説明しています。

注意
- ● まだ本製品は接続しないでください。ステップ3まで完了した後に、本紙うら面を参照して、本製品を接続してください。
- ● ファイアウォールの機能が有効となっている場合、本製品でパソコンが認識できないことがあります。このようなときは、ファイアウォール機能を無効にするか、ポートの使用を許可するか、ファイアウォールを設定しているソフトをアンインストールしてください。詳しくは付属のユーティリティＣＤに収録されている画面で見るマニュアル内の「困ったときは」をご参照ください。
- ● コンピュータの管理者権限があるユーザー名でログインしてください。それ以外のユーザー名では正常にインストールできません。
- ● パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

① ユーティリティCDをパソコンにセットします。

※簡単セットアップが起動します。起動しないときは、ユーティリティCD内の「BuffaloInst.exe」をダブルクリックしてください。
※Windows Vistaをお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、[BuffaloInst.exeの実行]をクリックしてください。また、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行]をクリックしてください。

②

1. [PC-P4シリーズ Utilityのインストール]を選択します。
   ※通常は[DirectX9.0cのインストール]を選択する必要はありません。動画ファイルが再生できなかったときにインストールください。
2. [開始]をクリックします。

右上へつづく

③ 以降は、画面の指示にしたがってインストールしてください。

※DirectX(9.0c)がインストールされていないパソコンでは、右の画面が表示されます。このようなときは、画面のメッセージにしたがってDirectXをインストールしてください。

お使いのパソコンによっては、再起動メッセージが表示されることがあります。このようなときは、画面をキャンセルして閉じてください。再起動は、「インストールが終了しました」と表示された後に行います。

※「インストールが終了しました」と表示されたら、[再起動]をクリックし、パソコンを再起動してください。

以上でインストールは完了です。

ステップ3 再生フォルダを登録しよう

再生したいファイルがあるフォルダを指定します。

① [スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[MediaServer]-[BUFFALO メディアサーバ設定]を選択します。

※Windows Vistaをお使いの場合、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されることがあります。このようなときは、[続行]をクリックしてください。

②

1. [共有フォルダ]タブを選択します。
2. [追加]をクリックします。

③

1. 再生したいファイルがあるフォルダを選択します。
   ※ネットワークドライブ(LinkStationやTeraStationなど)のフォルダを追加すると、ネットワークドライブのデータを本製品で再生することができます。
2. [追加]をクリックします。
3. [完了]をクリックします。

④

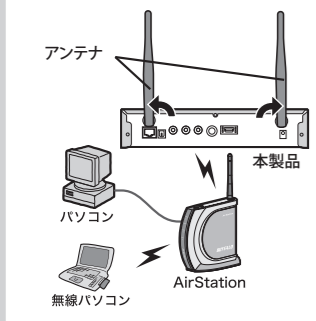
追加したフォルダが表示されます。
※画面を閉じるときは、タイトルバー右の ☒ をクリックしてください。

以上で再生フォルダの設定は完了です。

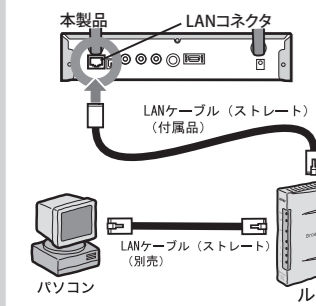
次ページへつづく

ステップ 4 ネットワークに接続しよう

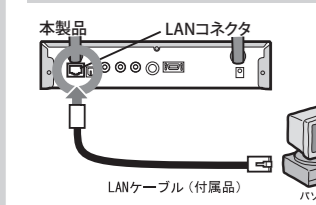
本製品をネットワークまたはパソコンに取り付けます。

無線で接続する場合

本製品を無線で接続するには、AirStation(アクセスポイント)が必要です。
本製品のアンテナは90度に立ててお使いください。ネットワークの接続はステップ７の画面上で設定してから有効になります。

※高画質な映像ファイルを再生する場合は、54Mbps対応製品を推奨します。11Mbpsの場合、3Mbps以上のファイルを再生するとコマ落ちや音飛びすることがあります。
※メディアサーバを搭載したLinkStation/TeraStationのデータを再生するときは、LinkStation/TeraStationをAirStationに接続してください。

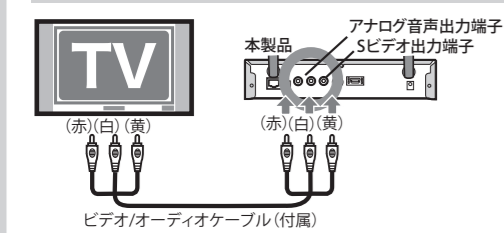
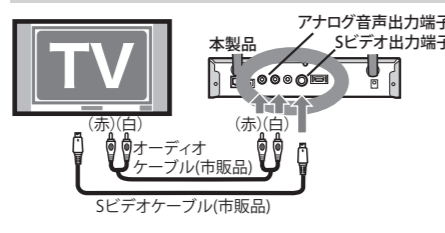
有線で接続する場合

本製品を接続するには、ルータが必要です。
お使いの環境にルータがない場合（DHCPサーバを使用していないとき）は、本製品のネットワーク設定を手動で行う必要があります。CDに収録されている画面で見るマニュアルを参照してネットワーク設定を行ってください。ネットワークの接続はステップ７画面上で設定してから有効になります。

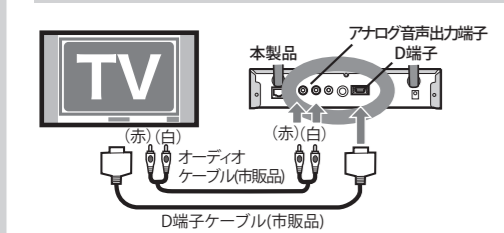
※メディアサーバを搭載したLinkStation/TeraStationのデータを再生するときは、LinkStation/TeraStationをルータに接続してください。

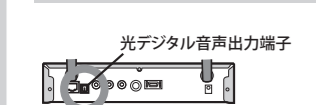
パソコンと直接接続する場合

パソコンと本製品を直接接続したい場合は、図のように接続してください。
本製品のネットワーク設定を手動で行う必要があります。CDに収録されている画面で見るマニュアルを参照してネットワーク設定を行ってください。ネットワークの接続はステップ７画面上で設定してから有効になります。

ステップ 5 テレビに接続しよう

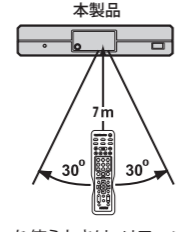
本製品をテレビに接続します。
※本製品のビデオ出力を2系統以上の接続(Sビデオ端子とコンポジットビデオ端子どちらも接続するなど)しないでください。

コンポジットビデオ端子でテレビと接続する場合

Sビデオ端子でテレビと接続する場合

※初期設定では、コンポジットビデオ出力/Sビデオ出力端子から映像信号が出力されるように設定されています。付属のビデオケーブルで接続するか、市販のSビデオケーブルで接続すればそのままお使いになれます。

D端子でテレビと接続する場合

※D端子から映像信号を出力するには、出力先の設定を［コンポーネント　480i　4x3］などに変更してください。
出力先の設定は、リモコンの［出力切替］ボタンを押すことで変更できます。
また、本製品のトップ画面から［設定］-［表示］を選択すると表示される設定画面でも出力先を変更することができます。

音響機器を接続する場合

※本製品の音声を音響機器(デコーダ付アンプなど)を接続する場合は、市販の光デジタルケーブルで接続してください。接続する機器がドルビーデジタルに対応している場合、迫力ある音声で楽しむことができます。

ステップ 6 リモコンに電池を入れよう

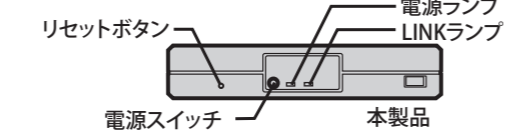
リモコンを使用できるように電池を入れます。本製品のリモコンは**単四形乾電池2個**で動作します。
リモコン裏面の電池カバーを開け、電池を入れてください。
＋と－の向きはリモコンに記載されています。

※＋と－の向きに注意して正しく入れてください。
※付属の電池は動作確認用です。できるだけお早めに新しい電池とお取替えください。

本リモコンを使うときは、リモコンの発光部を本体の受光部に向けます。リモコンの使用可能位置については、図を参照してください。

右上へつづく

ステップ 7 電源アダプタを接続しよう

本製品に電源アダプタを接続します。

本製品に電源アダプタを接続すると本製品が起動します。起動が完了すると電源ランプが緑色に点灯します。

電源ランプ	
緑色点灯	電源ON時
橙色点灯	電源スタンバイ時
LINKランプ	
緑色点灯	LANリンクアップ時点灯、LANリンクダウン時消灯

※本体の電源スイッチは、押すごとに電源ON/スタンバイ状態を切り替えます。電源を完全にOFFにするには電源ケーブルをコンセントから取り外してください。また、電源スイッチを5秒以上長押しすると、AOSSの設定がはじまります。10秒以上長押しすると本体を工場出荷時の状態に戻すことができます。
※ゼムクリップを伸ばした物などの先でリセットボタンを押すと本製品を再起動できます(設定の初期化は行いません)。

AOSS対応のAirStationに無線で接続する場合

1. テレビの画面に[セットアップへようこそ]と表示されたら、[いいえ、AOSSを使用します]を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。
2. AirStation（アクセスポイント）のAOSSボタンを押し、1～2分ほど待ちます。
※イラストの例は、WHR-HP-G54シリーズです。

3. 「接続完了」と表示されたら、リモコンの[選択・再生]ボタンを押します。
※「ネットワークの接続に失敗しました。」と表示されたときは、[AOSSを使用して再試行します]を選択し、リモコンの［選択・再生］ボタンを押します。手順2からやり直してください。
4. テレビの画面で[完了]を選択し、リモコンの[選択・再生]ボタンを押します。
5. テレビの画面で[続き]を選択し、リモコンの[選択・再生]ボタンを押します。
6. テレビの画面で[完了]を選択し、リモコンの[選択・再生]ボタンを押します。
7. 左の本製品のトップ画面がテレビに表示されます。

テレビの画面 TV

以上で設定は完了です。

※既に本製品をネットワークに接続している状態から、本製品をAOSSでAirStationに接続し直したいときは、本製品の電源スイッチを5秒間長押ししてから、上記の手順2以降を行ってください。

AOSSに対応していないAirStationに無線で接続する場合

1. テレビの画面に[セットアップへようこそ]と表示されたら、[いいえ、通常のセットアップを使用する]を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。
2. 表示されたリストから接続したいAirStationを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。
3. ①テレビの画面で[キー]を選択し、リモコンの[選択・再生]ボタンを押します。
②リモコンのテンキーでAirStationのセキュリティキーを入力し、[選択・再生]ボタンを押します。
③[設定を保存してから接続します]を選択し、リモコンの[選択・再生]ボタンを押します。

テレビの画面 TV

4. 「接続完了」と表示されたら、テレビの画面で[完了]を選択し、リモコンの[選択・再生]ボタンを押します。
5. テレビの画面で[続き]を選択し、リモコンの[選択・再生]ボタンを押します。
6. テレビの画面で[完了]を選択し、リモコンの[選択・再生]ボタンを押します。
7. 本製品のトップ画面がテレビに表示されます。

以上で設定は完了です。

右上へつづく

有線で接続する場合

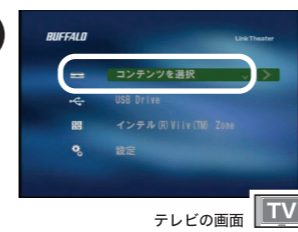
1. テレビの画面に[接続完了]と表示されたら、[次へ]を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。
2. テレビの画面で[続き]を選択し、リモコンの[選択・再生]ボタンを押します。
3. テレビの画面で[完了]を選択し、リモコンの[選択・再生]ボタンを押します。
4. 本製品のトップ画面がテレビに表示されます。

以上で設定は完了です。

ステップ 8 データをテレビで再生しよう

次のようにパソコンやサーバのデータをテレビで再生することができます。
※テレビの入力選択は「ビデオ」にするなど本製品を接続した入力端子からの表示ができる状態にしてください。
※ファイルによっては再生できない、または音ズレが起きる場合があります。

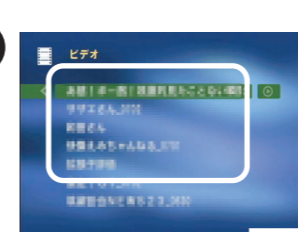
1. テレビに表示されているログイン画面で、[コンテンツを選択]を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

2. 表示されたサーバの一覧から、接続したいサーバを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

3. 再生したいジャンルを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。
※他社製のメディアサーバやサーバ名の末尾に「Buffalo Server」や「LinkStation」、「TeraStation」と表示された弊社製メディアサーバではこのメニューは表示されません。表示内容は接続するメディアサーバによって異なります。

テレビの画面 TV

4. 再生したいファイルを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの停止ボタンを押してください。

テレビの画面 TV

以上でデータの再生は完了です。

本製品の設定の変更方法や注意事項などは、ユーティリティCDに収録されている画面で見るマニュアルをお読みください。

画面で見るマニュアルの読み方 「PC-P4シリーズユーザーズマニュアル」

簡単セットアップのトップ画面で、[マニュアルを読む]を選択し、[開始]をクリックしてください。PC-P4シリーズユーザーズマニュアル(PDFファイル)が表示されます。
※マニュアル(PDFファイル)を読むにはAcrobat Readerが必要です。
パソコンにインストールされていないときは、簡単セットアップのメニューから[Acrobat Readerのインストール]を選択し、[開始]をクリックしてください。Acrobat Readerがインストールされます。

本製品ソフトウェアを削除するには

本製品のソフトウェアを削除するときは次の手順で行ってください。

PC-P4シリーズ Utilityのアンインストール

※トランスコーダをアンインストールします。

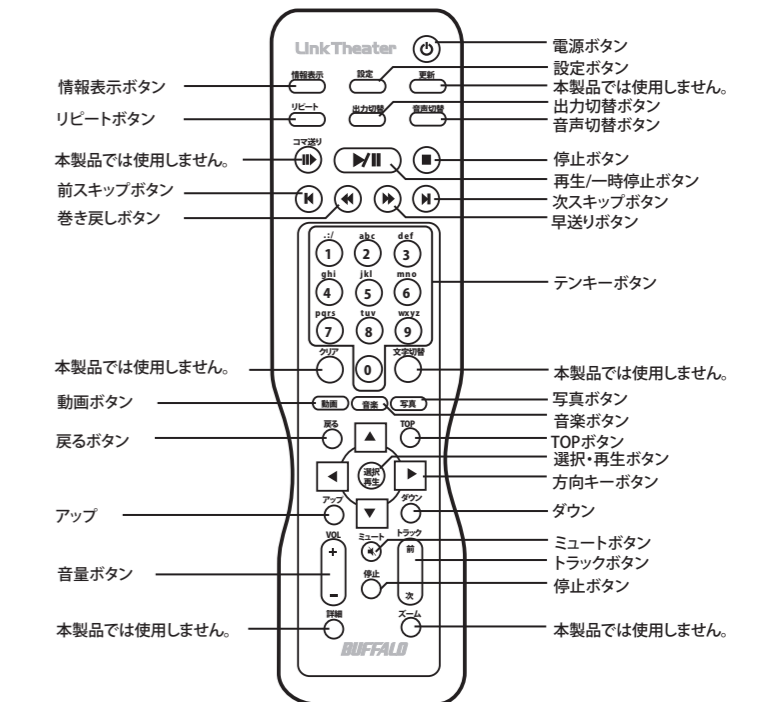
[スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[PC-P4シリーズ]-[アンインストーラ]をクリックします。
以降は画面の指示にしたがって操作してください。

BUFFALO MediaServerのアンインストール

※MediaServer、リアルタイムトランスコーダをアンインストールします。

[スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[MediaServer]-[アンインストーラ]をクリックします。
以降は画面の指示にしたがって操作してください。

リモコンの操作リファレンス

本製品に付属のリモコンでは次のことができます。

ボタン名	説明
電源	電源ON/スタンバイ状態を切り替えます。
情報表示	状態、または再生中のファイルの情報を表示します。
設定	セットアップ画面を表示します。セットアップ画面表示中に押すと前の画面に戻ります。
リピート	リピート機能を選択します。OFF→ランダム→リピート→全リピート→ランダム全リピート
出力切替	ビデオ出力を切り替えます(コンポジット/Sビデオ→D端子)
音声切替	音声出力を切り替えます(左→右→ステレオ)。
再生/一時停止	ファイル一覧画面で押すとファイルを再生します。再生中に押すと一時停止します。
停止	再生中に押すと再生を停止します。
前スキップ	前ファイルへ移動します。
巻き戻し	再生中に押すと巻き戻しします。巻き戻し速度は押すごとに、3段階で変更できます。
早送り	再生中に押すと早送りします。早送り速度は押すごとに、3段階で変更できます。
次スキップ	次ファイルへ移動します。
テンキー	数字入力をします。同じボタンを連続して押すことで文字を切り替えることができます。ネットワーク設定で「.(ピリオド)」は、[１]ボタンを2回連続で押すことで入力できます。
動画	動画フォルダ選択画面を表示します。
音楽	音楽フォルダ選択画面を表示します。
写真	写真フォルダ選択画面を表示します。
戻る	インテル®Viiv™ ゾーンのアプリケーションを終了します。
TOP	ログイン画面を表示します。
方向キー	カーソル移動をします。ファイル一覧表示時に右方向キーを押すとファイルを再生します。再生中に左方向キーを押すと停止します。
選択・再生	選択した項目を決定します。
アップ・ダウン	一覧表示のページアップ・ダウンをします。
ミュート	消音のON/OFFを切り替えます。
音量	音量の大きさを調整します。
トラック	動画や音声ファイルを再生の際、前トラック、次トラックに移動します。

本製品について
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

受信障害について
ラジオやテレビジョン受信機（以下、テレビ）などの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、以後は次の方法を組み合わせて受信障害を防止してください。
・本機と、ラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる
・本機と、ラジオやテレビ双方の距離を離してみる
・この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる